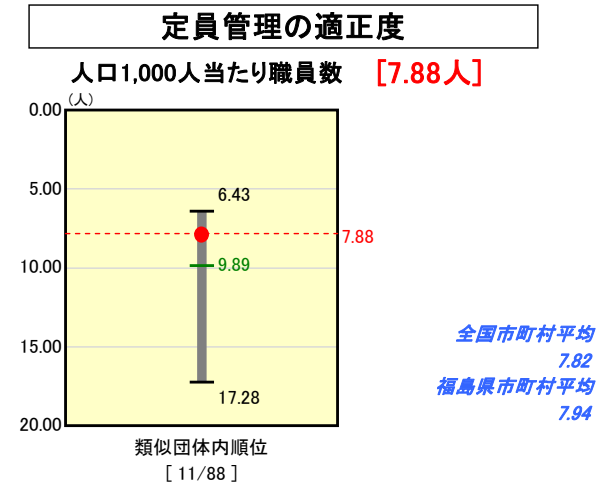
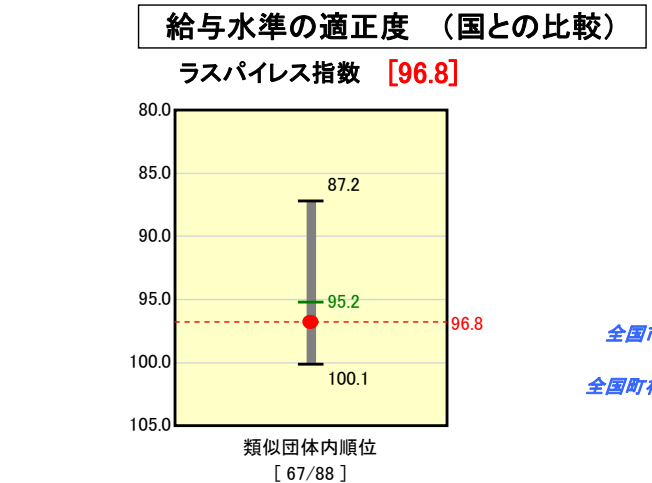
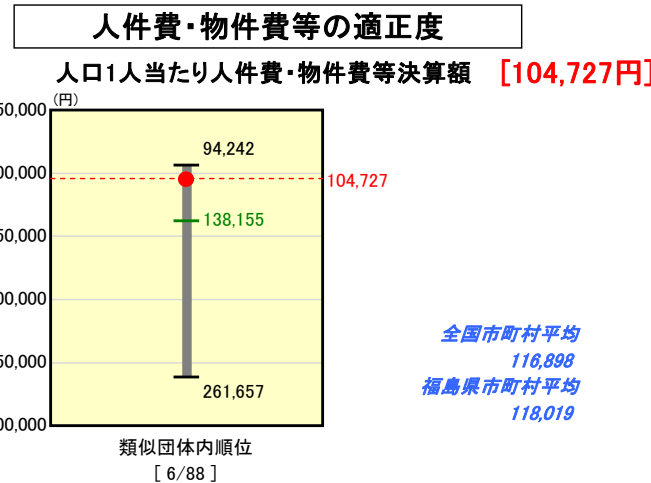
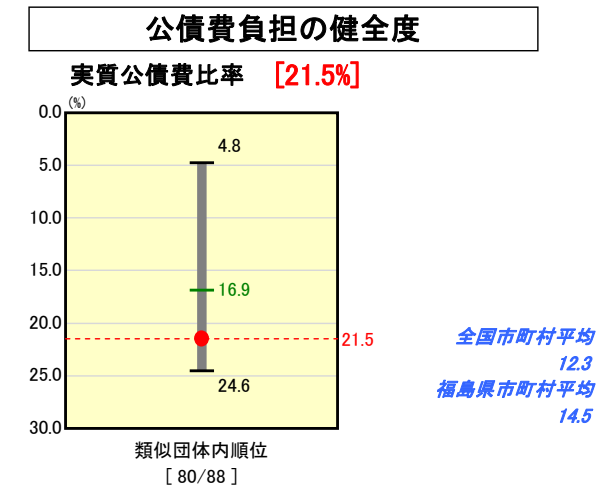
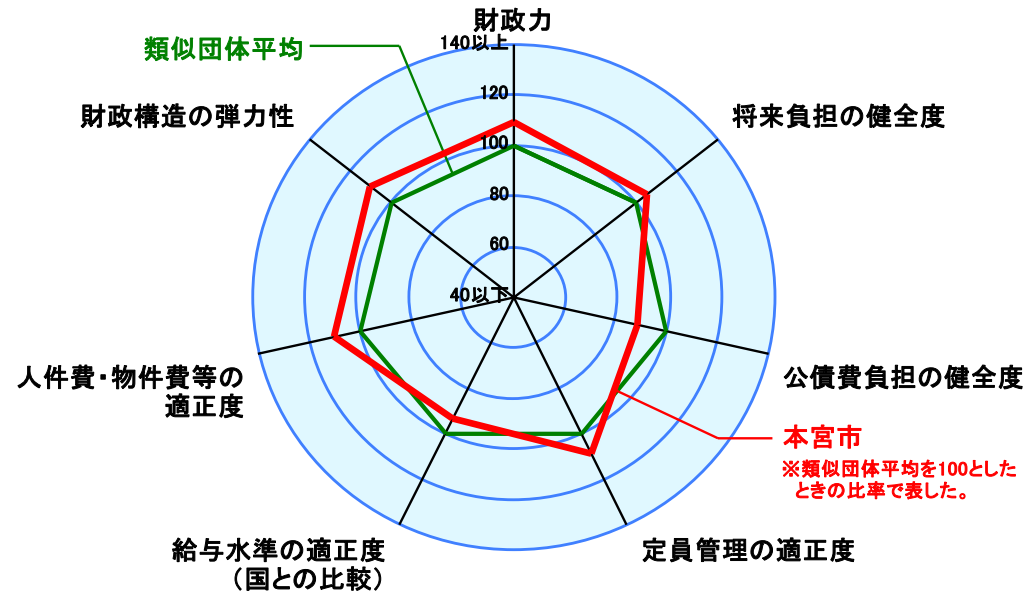
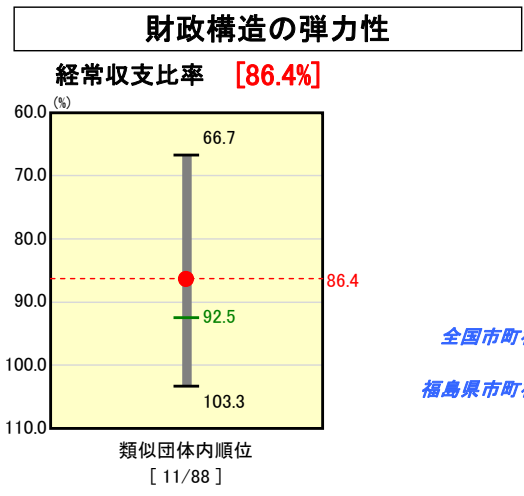
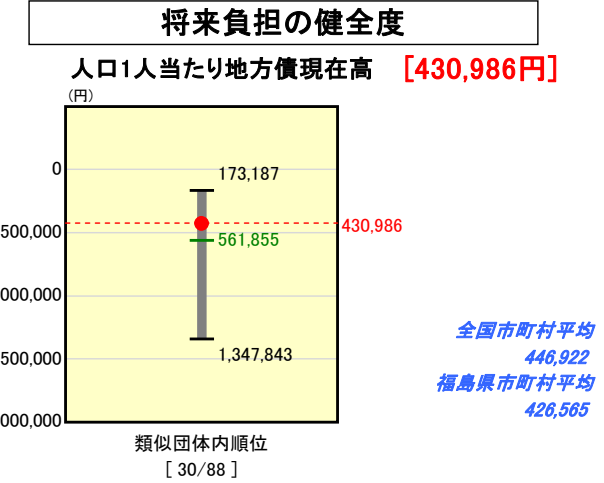
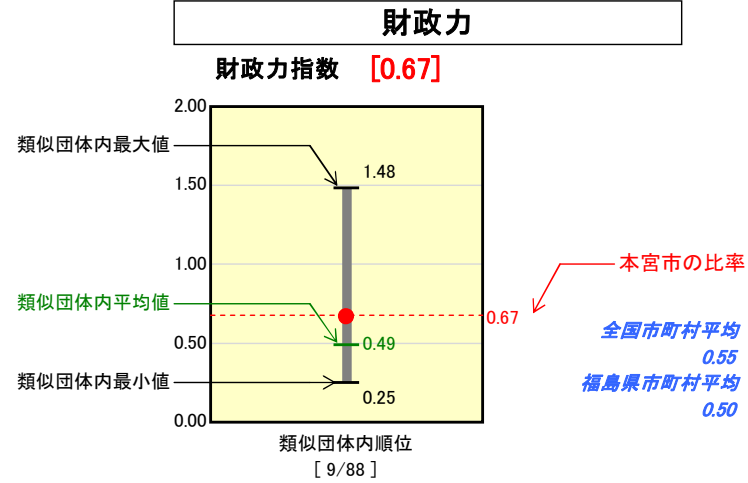


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

福島県 本宮市

人口	31,734人	(H20.3.31現在)
面積	87.94	km ²
歳入総額	13,735,504	千円
歳出総額	13,316,507	千円
実質収支	391,783	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄	
財政力指数	： 平成19年度財政力指数は0.67(平成18年度0.63)となっており、今後も税収の徴収率向上を中心に歳入の確保に努める。
経常収支比率	： 経常収支比率86.4(平成18年度91.5)で対前年度▲5.1ポイント。減少の要因は、税源移譲による市税の増及び、経常支出(物件費、維持補修費、補助費、繰入金等)の減。今後も経常経費の削減に努め、当該比率の減少を図る。
実質公債費比率	： 実質公債費比率は21.5%で、地方債許可制度へ移行する基準値である18.0%を超えている。自主的財政健全化計画並びに公債費負担適正化計画に基づき、平成25年度を目標に18%以下まで当該比率を下げる。
人口1人当たり地方債現在高	： 人口一人当たりの地方債現在高は430,986円で、類似団体平均値比較では、▲130,869円となっている。新規地方債の発行は必要最小限に留める。
ラスパイレス指数	： 全国平均よりも下回っているが、引き続き給与の適正化を図る。
人口1,000人当たり職員数	： 人口1,000人当たりの職員数は、7.88人で、類似団体平均値比較では、▲2.01人となっている。財政健全化を図る上で人件費を抑制しなければならない状況であるが、組織の再編・統合により、効率的、効果的な職員体制を整備する。
人口1人当たり人件費・物件費等決算額	： 人口1人当たりの決算額は104,727円(平成18年度113,514円)、対前年度▲8,787円となり、類似団体平均値に対し▲33,428円となっている。指定管理者制度への移行等を進め、当該経費を抑制する。